

# 一票で築く我等の明るい郷土

## 統一地方選挙

### 県議選は四月十日 投票

### 村議選は四月二十四日

任期満了に伴う新潟県議会議員一般選挙及び月潟村議会議員一般選挙が次のとおり行なわれます。今回の選挙は、今後の地方自治のあり方を方向づけるきわめて重要な意義をもちます。

私たちが有権者は、地方自治の重要性を十分に認識し、自分自身の目と耳で確かめ、棄権することなく、清く正しい一票を投じましょう。

一、新潟県議会議員一般選挙  
 (一)選挙期日(投票日)  
 昭和五十八年四月十日(日)  
 (二)告示日  
 昭和五十八年三月二十九日(火)  
 (三)選挙人名簿登録基準日  
 昭和五十八年三月二十九日(火)

任期満了に伴う新潟県議会議員一般選挙及び月潟村議会議員一般選挙が次のとおり行なわれます。今回の選挙は、今後の地方自治のあり方を方向づけるきわめて重要な意義をもちます。

私たちが有権者は、地方自治の重要性を十分に認識し、自分自身の目と耳で確かめ、棄権することなく、清く正しい一票を投じましょう。

一、新潟県議会議員一般選挙  
 (一)選挙期日(投票日)  
 昭和五十八年四月十日(日)  
 (二)告示日  
 昭和五十八年三月二十九日(火)  
 (三)選挙人名簿登録基準日  
 昭和五十八年三月二十九日(火)

### 統一地方選挙とは

四年に一回、春にまとめて行われる地方選挙のこと。昭和二十二年四月の第一回地方選挙以来、今年で十回目を迎える統一地方選挙は、三月から五月の三か月間に任期満了を迎える地方自治体の首長、議員合わせて二千六百九十件について四月十日と二十四日(いずれも日曜日)に投票が行われます。

十日には北海道、東京都、大阪府など十二都道府県知事選挙をはじめ四十四道府県議(東京、茨城、沖縄を除く)、札幌、川崎

の二政令指定都市市長、北九州を除く九政令指定都市の市議選挙があります。

また、二十四日には一般の市の百四十六市長、三百八十六市議、東京特別区の千代田、足立、葛飾を除く二十区長、二十三区議、七百四十一町村長、千三百七十七町村議の選挙が行われます。今年七月に参議院議員の任期が終了しますので六月または七月に参院選もあり、十二年に一回の地方選挙と国政選挙が重なる「選挙の年」です。地域住民にはより身近な地方選挙だけに審判の結果が注目されます。

### 戸籍手数料が引き上げられます

戸籍手数料令を改正する政令が本年三月八日付で公布され、四月一日より手数料が別表のようにかわります。

事項	現行額	改正額
戸籍謄本又抄本 一通につき	二百円	三百円
除籍謄本又抄本 一通につき	三百円	五百円
戸籍記載事項証明 一件につき	百円	二百円
除籍記載事項証明 一件につき	二百円	三百円
(戸籍)届出書の受理の証明 一通につき	百円	二百円
(戸籍)届出書の受理の証明 (戸籍用紙) 一通につき	八百円	千円
戸籍届書の閲覧 書類一件につき	百円	二百円

### 諏訪三零さんが人権擁護委員に委嘱されました。

諏訪三零さん(大別当、満徳寺住職)は、三月一日、法務大臣から人権擁護委員の委嘱(再任)を受けられました。

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために設けられています。

私的制裁や差別待遇、生活権の

明書は、午前八時三十分から午後五時までの間ならいつでも発行しますので、役場住民課へ申し出て下さい。

また、昭和五十七年十二月二十八日以降に転出された者は、転出先が新潟県内の場合、転出先市町村からの住所証明書があれば、月潟村で投票することができます。

(五)不在者投票  
 三月二十九日から四月九日までの午前八時三十分から午後五時まで。土、日曜日でもできます。投票場所は、役場一階相談室です。印鑑を忘れずにお持ち下さい。

### 一位に下曲支部チーム 桃のせん定競技会開催

月潟村農業振興協議会主催による、昭和五十七年度最後の事業である桃のせん定競技会を去る二月二十六日大別当の小湊真さんのほ場を借り、各支部より代表三名づつのメンバーで計五チームにより開催いたしました。樹令は七年生の日の出で、既に主枝、亜主枝が確立された良好な樹を選びました。各チーム共、技術の差が無くわずかな差で次のとおり順位を決定いたしました。

一位 下曲通支部チーム  
 二位 月潟支部チーム  
 三位 西置場支部チーム  
 四位 大別当支部チーム  
 五位 上曲通支部チーム

尚、普及員さんからは次の点を注意して欲しいとの事でした。



選挙管理委員会事務

### 移動交通事故相談所が開設されます。

新潟県交通事故相談所では、不幸にして交通事故にあわれお困りの方に、交通事故相談所を開設しています。

常設相談所のほかに、昭和五十八年度も次のとおり移動相談を実施しますのでご利用下さい。

一、開設場所 市民相談室  
 白根市役所

### 暮く春の奔走

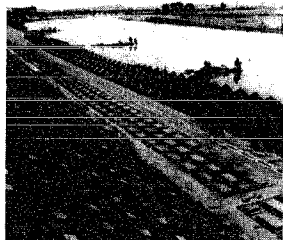
#### 一万三千人のランナーが走った!

#### 青海報知マラソンに四名完走

梅のつぼみがほころび始めた早春の青海路に、第十七回青海報知マラソンが開催された。吹雪の越路をあとにした走ろう会のメンバー、女性を含む四名は初の市民ランナーの「走る祭典」に参加した。

大会会場は、国鉄青海線河辺駅下車(立川より約三十分)、ランナーと家族、応援者で五万人位にふくまえた。天候晴れ、気温八度、湿度三十六%と絶好のコンディション。

午前十時に10キロスタート、走ろう会の紅一点も二千八百三十三人のランナーと共に見事完走。なお、女子優勝は中国・北



きれいな川は人も魚もうるおします

### 4月は河川美化月間

京代表の重玉梅で三十七分四十四秒であった。

メーンレースの30キロには一万五千二百二十五人が参加。この中には走ろう会の三名がいるし、ポストン代表の快足マイヤー、モスクワ五輪・銀メダルのナイブル、さらに千葉、佐倉高の倉橋尚己、そして女優の丘みつ子と報道陣のカメラは追う。結局、マイヤー(米)が4キロでトップに立ち、一時間三十一分五秒で優勝、走ろう会の三人男もトラブルなく、目標タイムで完走した。

市民ランナーから五輪メダリストトまで、奥多摩のきれいな空気を胸いっぱい吸いながら生きていくのが印象的であった。

近藤一弥さんから寄稿していただきました。